

# ひろしま男子駅伝 広島チーム中高生代表候補選手強化合宿

第5回【平成25年9月15日（日）・16日（月・祝） 会場：世羅】

第5回目の強化合宿は、第40回全日本中学校陸上競技選手権大会において、3000m及び1500mに出場した11名、高校5000mランキング上位4名を強化対象選手として招集し実施した。

15日（日）の開講式では、坂口コーチ（中国電力監督）から「ここにいる選抜メンバーからどんどん絞られ駅伝メンバーが選考される。選考された者は、広島県代表選手として責任ある行動を要する。また、選考されなかったからといって、これで終わりではない。次なる大きな目標を掲げ、更に努力してほしい。大きな目標と言えば、2020年東京でオリンピックが開催される。まさに、君たちが狙える年齢での開催である。東京で開催されることをチャンスと捉え、狙っていくような大きな選手へ育ててほしい。ただ、君たちはアスリートであると同時に学生であることを忘れてはいけない。まずは学校や家庭での生活面を正し、相手のことを考えられる心、『おもてなし』の精神を備える、心豊かな人間になってほしい。」とあり、メンバー一同、真剣な眼差しで聞いていた。

この日の練習は、あいにくの雨天となり、予定していたクロスカントリー練習から変更し、河川敷での距離走となり、高校生が中学生を引っ張る形で行った。

16日（月・祝）は、6時から世羅高校グラウンドで朝練習、その後、10時からの練習では前日予定していたクロスカントリー練習を行った。1周8分前後の周回コースで、中学生、高校生とも与えられた周回数を各々のペースで行った。自らに周回ペースを設定し積極的に追い込んで走る者、ライバル選手と競いながら走る者、高校生に胸を借りて付いて走る中学生など、それぞれが積極的に練習に取り組んでいた。

閉講式では岩本監督から「今回で今年度の選抜強化合宿は終了する。次回招集するのは一般選手も含めた第19回大会代表メンバー。年末年始の調整合宿及び大会直前の試走合宿を経て、本番へ挑む。目指すは日本一。最低でも入賞と考えている。君たちには今後、各種大会や駅伝、また各学校での練習等で力をつけていってほしい。そこで大事になってくるのは自分の目標をどう設定していくかである。高い目標を設定し、達成しようとするれば、それに向け努力していくであろう。その目標設定から達成までの間にある『努力』という過程が大切であり、人間性を大きくする要因にもなる。目標を『日本一』に設定すれば、『日本一』の人間にふさわしい言動が必要である。陸上競技を通じ人間性を磨き、『チーム34』の精神で一緒に目標を達成しよう。」と締めくくり、今年度の選抜強化合宿の全日程を終了した。



クロスカントリー練習



開講式（坂口コーチ）



閉講式（岩本監督）